

2022年8月1日
(4-13)

東急エージェンシー、ブランドセーフティおよび無効トラフィック対策 におけるJICDAQ(一般社団法人デジタル広告品質認証機構)認証取得



株式会社東急エージェンシー(本社：東京都港区 代表取締役 社長執行役員：澁谷尚幸)は、JICDAQ(一般社団法人デジタル広告品質認証機構)より、認証分野：「ブランドセーフティ」(※1)「無効トラフィックの対策」(※2)2分野において「JICDAQ認証」を取得したことをお知らせします。

JICDAQは、公益社団法人日本アドバイザーズ協会(JAA)、一般社団法人日本広告業協会(JAAA)、一般社団法人日本インタラクティブ広告協会(JIAA)の3団体を中心となり、デジタル広告の品質課題に関する取り組みとして設立された認証機構です。JICDAQは、デジタル広告の一層の健全化に向けて、「アド Fraud を含む無効トラフィックの除外」と「広告掲載先品質に伴うブランドセーフティの確保」に関わる業務プロセスの認証基準を制定し、それに沿った業務を適切に行っている事業者を認証し社名を公開しています。また、理念に賛同するアドバイザーの社名も公開することで、アドバイザーと広告業関係者が協働して広告品質の向上を目指しています。

東急エージェンシーは、インターネット広告における、ブランドを毀損しかねないサイトへの広告の掲載(ブランドセーフティ)および悪意の者による広告収入の不正取得(アド Fraud)における、当社広告品質管理体制の整備と適切な運用をはかるために、JICDAQ認証を取得しました。

今後も、上記ならびに消費者に広告が視認されない(ビューアビリティ)、消費者に不快感を与えるユーザーエクスペリエンスなどのリスクに対応するため、広告掲載先の品質確保に関する取り組みを重視し、広告品質管理の継続的な実践と向上に努めていきます。

(※1)広告掲載先の品質確保による広告主ブランドの安全性の確保のことをいう。

(※2)不正取得を含む無効と判定されたトラフィックが最終的な広告配信後のレポートングにおいてインプレッション、クリックなどの成果の測定値から除外されることをいう。

【本件に関するお問い合わせ】
DXメディアデザイン局 西村
Mail : ml_tag_jicdaq@tokyu-agc.co.jp